

教育目標 「 知性豊かに 心さわやか たくましく生きる 」



志

学校だより

R4 .11 .25

四日市市立内部中学校 第 31 号

11月末を迎えて

11月も様々な学校行事がありました。今週は、期末テストを実施しました。2学期はずっと何かの取り組みがあり、とても忙しいですが、生徒たちはどの行事にもしっかりと取り組んでいます。このことは、内部中学校の先輩たちが作り上げた良き伝統であると思います。先輩たちに感謝するとともに、これからもずっと、こうした良い雰囲気を大切にしていきたいと思っています。



また、外部から来校された方から「内部中学校の生徒さんは、本当に気持ちの良いあいさつをしてくれる」と、お褒めの言葉をいただきました。このことは良き伝統であるとともに、生徒たちだけでなく、教職員も含めてすべての人が気持ち良く毎日を過ごすことにつながっています。さわやかで良いあいさつは、コミュニケーションの第一歩です。それができている生徒たちは、社会に出てからも、様々な他者と対話ができ、豊かな人間関係をつくっていけると思います。

これからも「あいさつ」を大切に、気持ちの良い内部中学校をみんなで創っていきましょう。

今一度考えてほしいこと

上記のように、生徒のみなさんは、「頑張る姿」「活躍する姿」をたくさん見せてくれています。そうした中で、登下校のマナーについて地域の方から再三ご意見や苦情をいただいていることはとても残念なことです。もちろん、ほとんどの生徒がルールやマナーをしっかりと守っていると信じています。また、問題となる行為も「たまたま」だったかもしれません。しかし、そうした事象を目撃した人にとっては「内部中学校の生徒はマナーが悪い」となってしまう訳で、そのことがとても残念です。この学校通信においても、登下校のマナー等については何度も提唱しています。自転車の乗り方等に気をつけることが大切なのはもちろんのことですが、生徒のみなさんに今一度考えてほしいことは、「いつも自分で正しい判断ができているか？」ということです。

11月22日（火）には、PTAの活動の一環として、保護者の皆様が下校時の見守りをしてくださいました。生徒のみなさんの安全を考えると、とてもありがたいことです。しかし、常時見守っていただく訳にはいきません。大人が見ていないとしっかり行動できないのでは困ります。中学生は子どもと扱われることが多いですが、判断力や行動力の面では、大人と言えるでしょう。ですから、交通マナーに限らず、すべての生活場面において、自分で適切に判断してください。

生徒たちの活躍

◇令和4年度薬物乱用ポスターにおいて、赤倉基美さん（3年）が佳作に入賞しました。

◇学校通信第29号で紹介しました、三泗地区英語スピーチコンテストに出場した、渡邊陽菜さんが、見事第2位に入賞しました。渡邊さんのスピーチの様子は、四日市市学習ポータルサイト「こにゅうどうくん学びの部屋」に、動画が掲載される予定です。

今後の予定について

◇11月28日（月）に、3年生が性教育講演会を受講します。

◇11月30日（水）に、3年生がリテラス「論理言語力検定」を実施します

◇12月8日（木）に、小学校6年生と本校の2年生とで、「人権フォーラム」を実施します。

◇12月13日（火）～15日（木）に、三者懇談会を実施します。

◇12月22日（木）に大掃除を行います。※昼食〔デリバリー給食〕は、この日までです。

◇12月23日（金）は2学期終業式となります。※3学期は、1月10日（火）からです。

地域のみなさんのお心

11月17日（木）に、『内部っ子はげまし隊』の12名のみなさんが来校され、校地内の樹木の剪定等の作業を行ってくださいました。「生徒たちが気持ち良く学校生活を過ごせるように」と、朝早くから熱心かつ丁寧に作業を行ってくださいました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。私たち学校も今後地域のみなさんに、恩返しをしていきたいです。



防災について

11月20日（日）に、『内部地区防災訓練』が実施される予定でした。しかし、コロナウイルス感染症の影響で、防災隊等の一部の方だけで実施となりました。本来であれば、中学生のみなさんも参加し、いざという時にどのような行動をとればよいかを考える機会としたいです。

南海トラフ巨大地震等が発生し、大災害となった時に三重県や四日市市、そして内部地区はどうなるでしょうか？建物が倒壊し、断水や停電となり、電話も不通に、電車やバスの運行も止まり、道路は多数が通行止めになり、帰宅困難者が多く発生し職場や学校に残留となるでしょう。また、行政機能が十分に働かなくなり、就労世代は職場に拘束されることが予想されます。そうした際に、いつも地域で生活している中学生は、災害の復旧や被災した方の支援等、共助の中心となって活躍できる存在だと思います。また、避難所において災害ボランティアとして、トイレの管理、配膳、物資の仕分け、子どもの遊び相手、避難所受付のお手伝い等でも活躍できます。

もちろん、災害時には自分や家族の生命や安全を守ることが一番大切です。そのことがちゃんと確認できた後は、周りの人、地域の人のために活躍してください。それだけの能力や体力がみなさんには十分身についています。これまで授業や部活動等で身に付けた知識や技能を活用し、仲間や他者と協働して様々な課題を乗り越えられるでしょう。これが「問題解決能力」です。